



ブロードバンド普及促進のための競争政策委員会資料

株式会社ミクシィ

2011年6月



目次

- mixi概況
- ソーシャルの潮流
- Any device, Any networkとソーシャルネットワーク
- グローバルな競争環境に向けて



mixi概況



mixi概況（ユーザー数）

月間ログインユーザー数

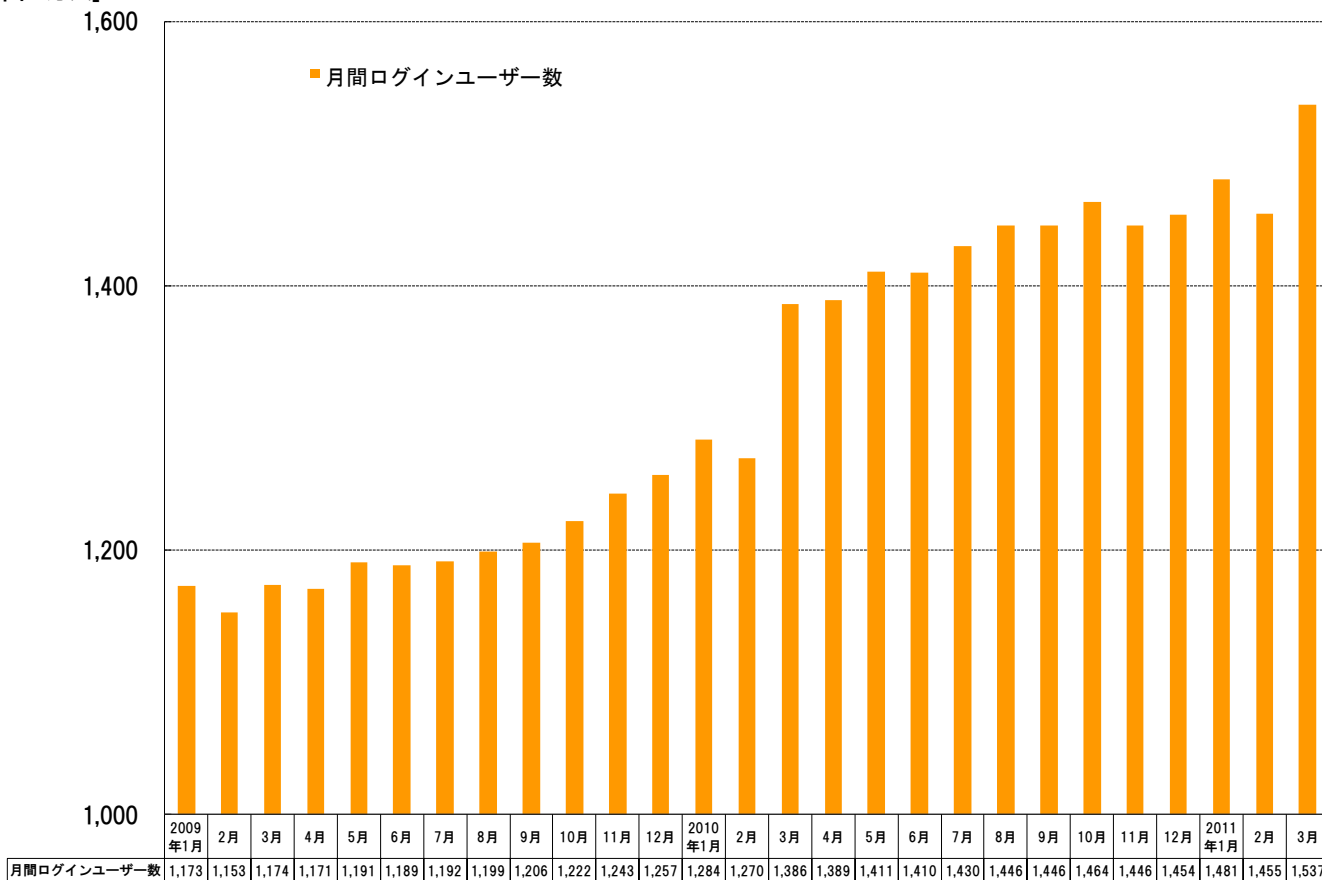
1,537 万人

（1か月に1回以上ログインしたユーザーの数）

登録ユーザー数

2,337万人

【単位:万人】



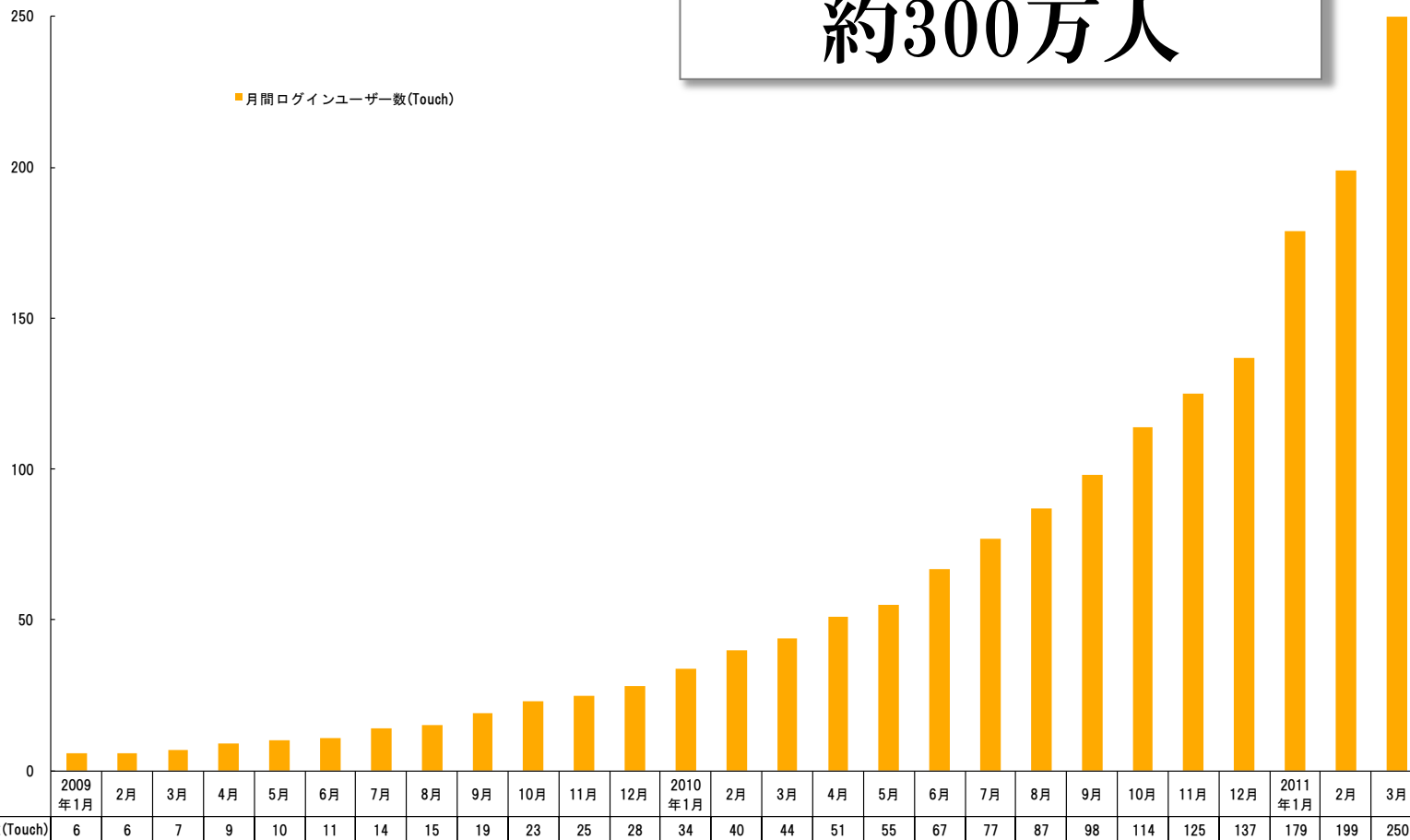


mixi概況（スマートフォンユーザー数）

月間ログインユーザー数

約300万人

[単位:万人]



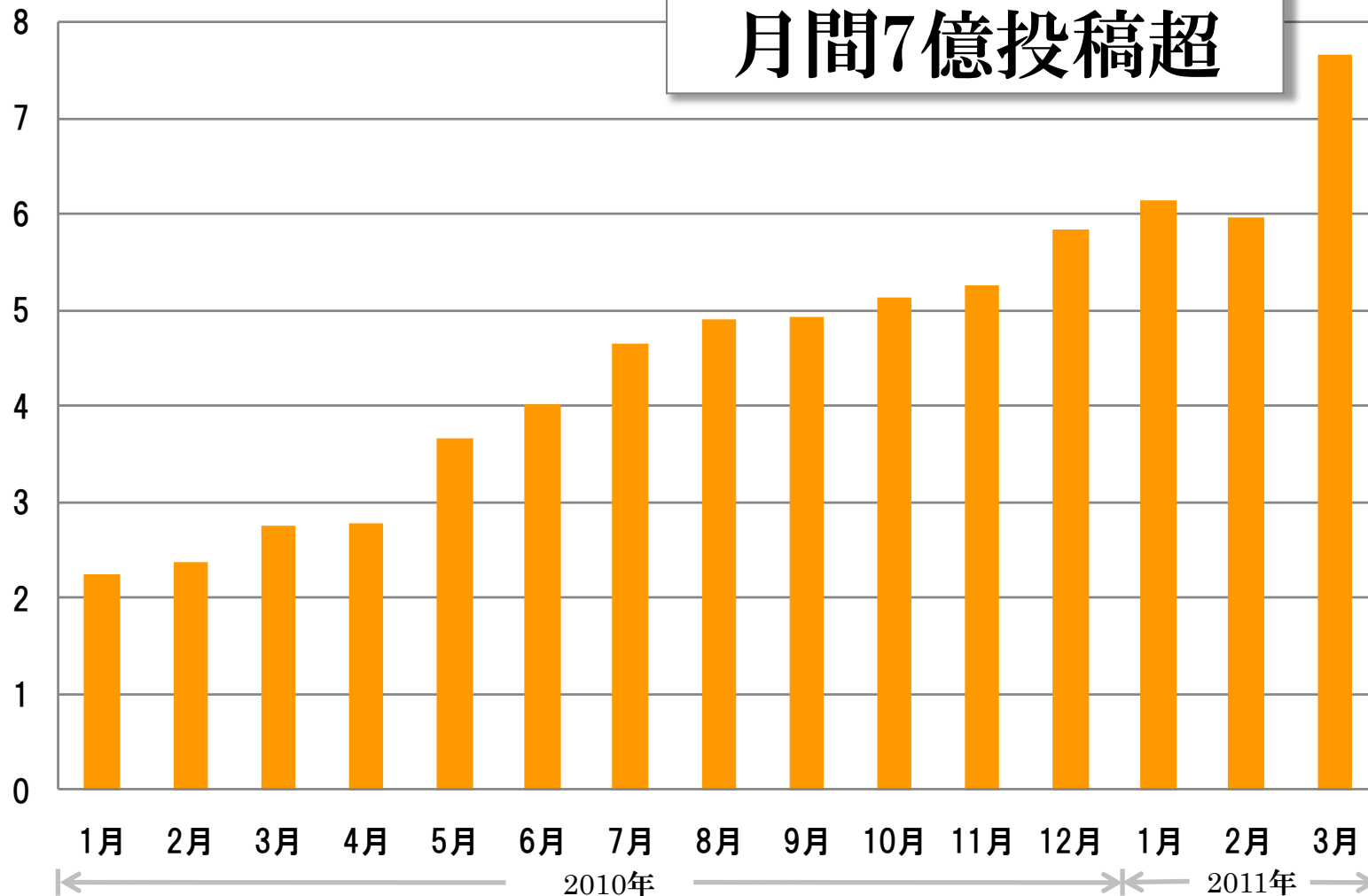


mixi概況（コミュニケーション投稿数）

[単位：億投稿数]

コミュニケーション投稿数

月間7億投稿超

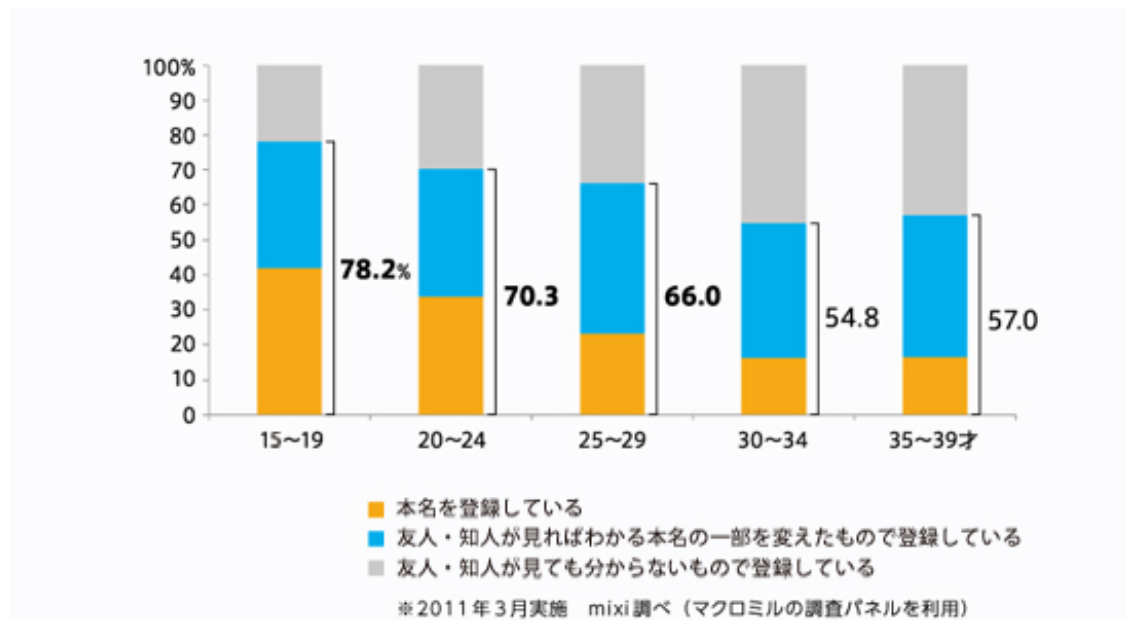
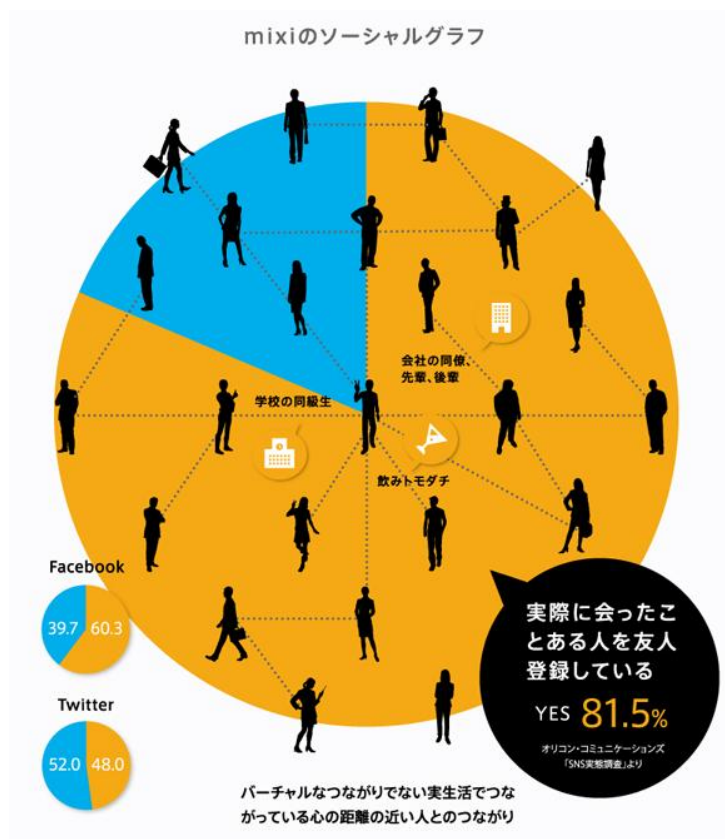


※総コミュニケーション投稿数：mixiのコミュニケーション機能（ボイス、日記、フォト、カレンダー、チェック、チェックイン、イイネ!）の投稿数及び各機能のフィードバック（コメント、イイネ!）数の総計を表す。



mixi概況 (Real Identity)

mixiが匿名であり、オンライン上のバーチャルなつながりというのは誤り。
実名もしくは知人にはわかる名前でコミュニケーションを図っている。



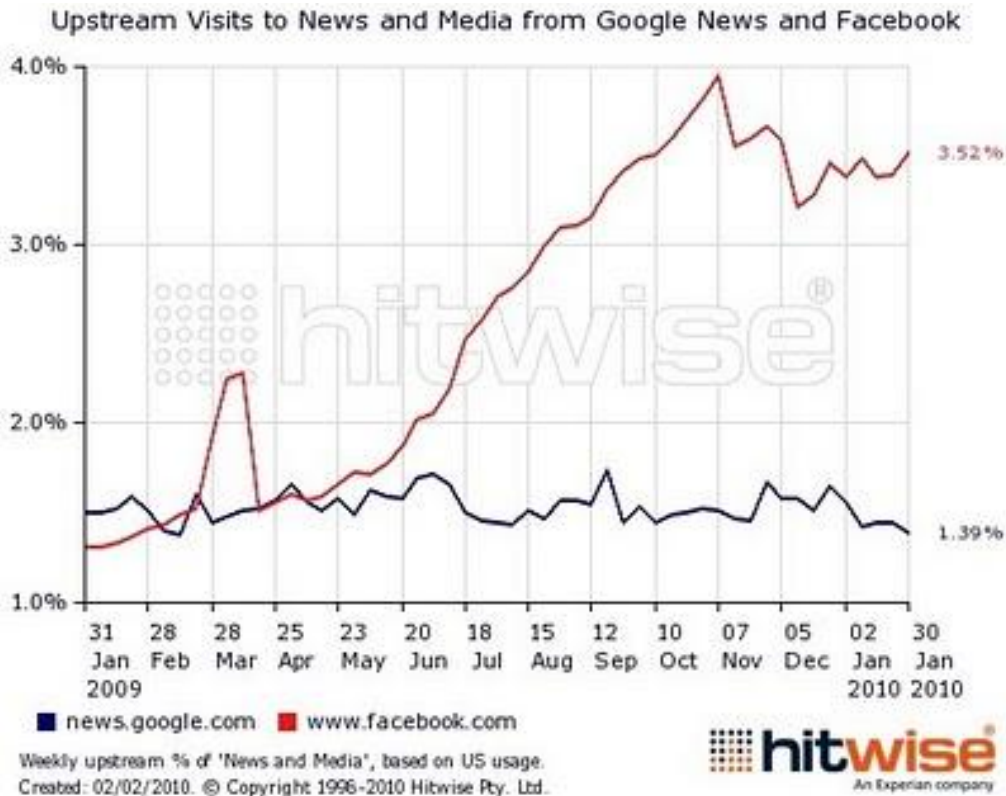


ソーシャルの潮流



情報経路の変化

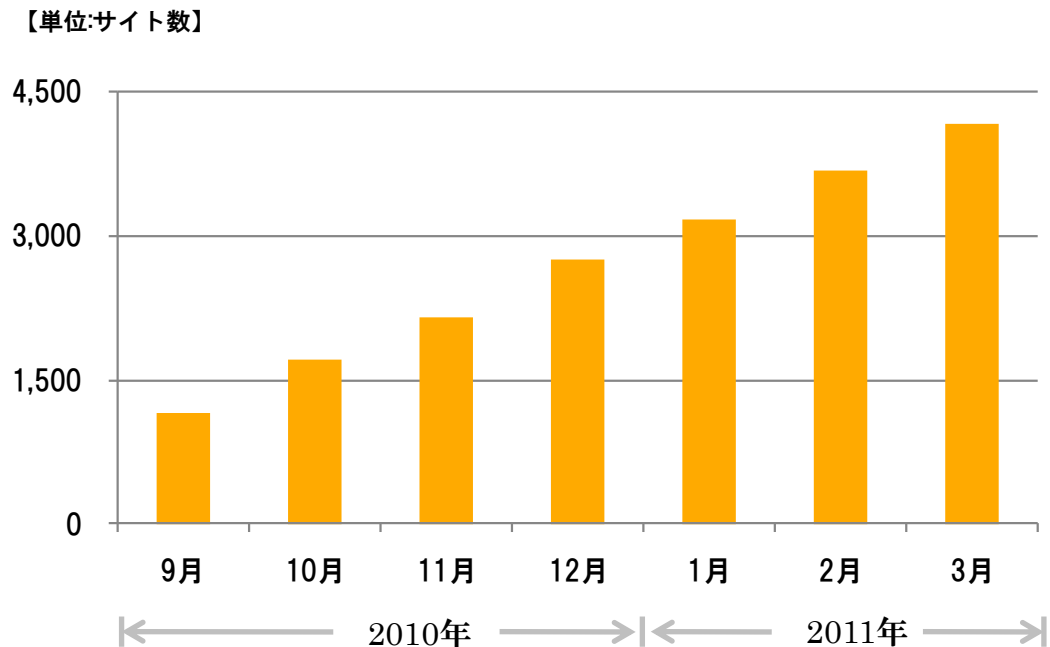
情報経路が検索サービスからソーシャルメディアへ





参考：外部サイトのソーシャル化

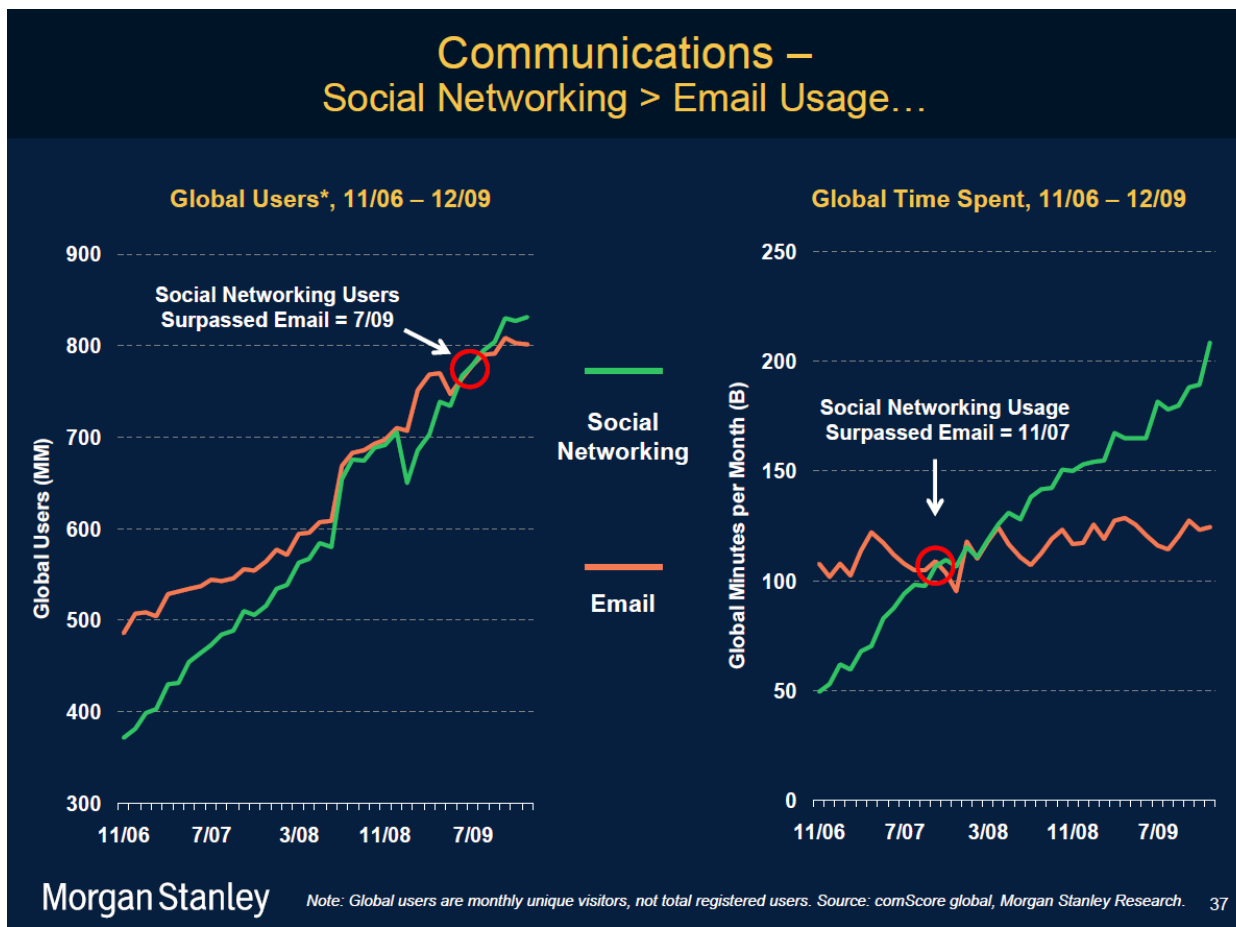
mixiチェック、イイネ！ボタン設置サイト数も約4,500まで伸長。
ある設置サイトではmixiからの流入数が検索サイトからの流入数を超過。





コミュニケーション手段の変化

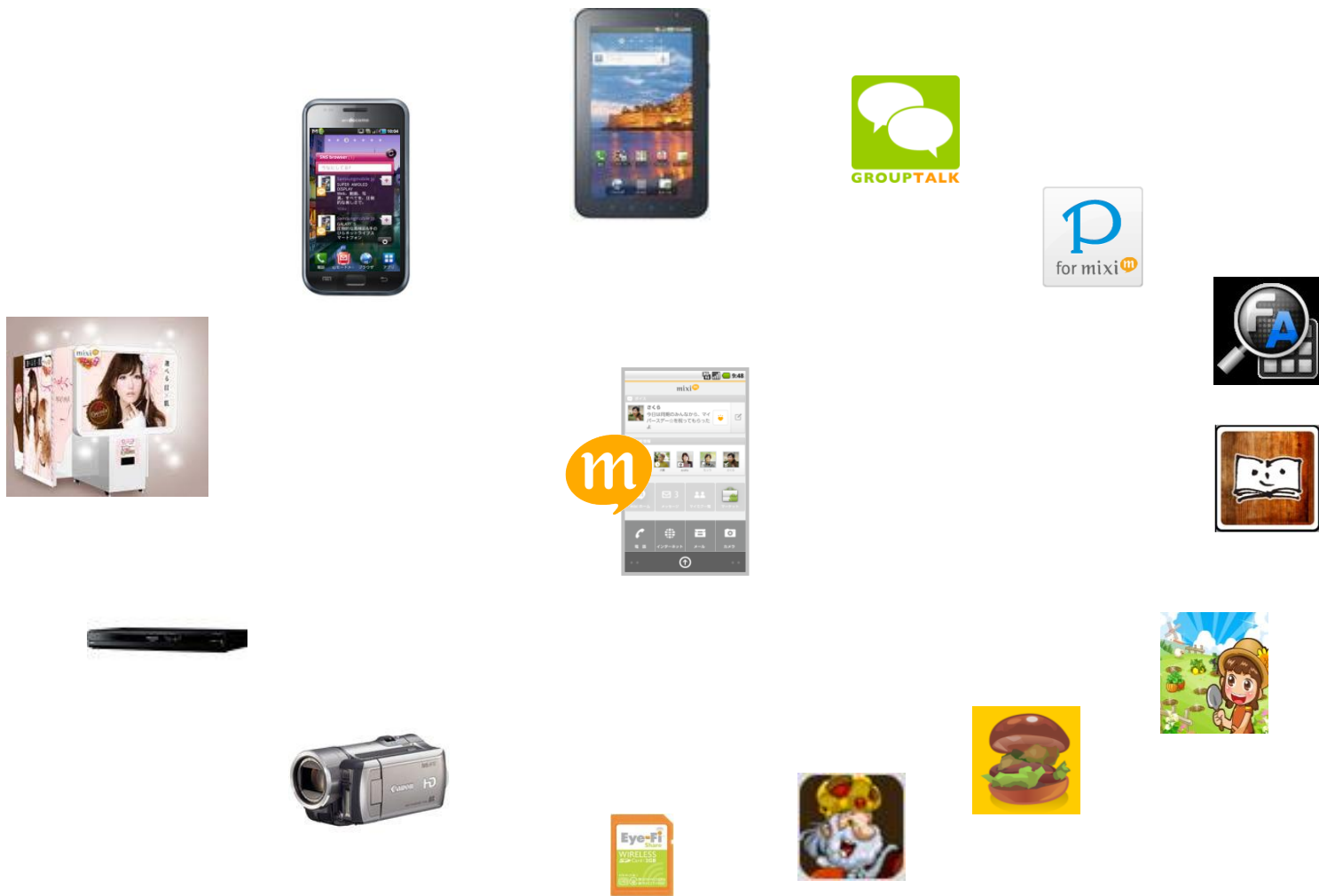
コミュニケーション手段もemailからソーシャルへ





デバイスのソーシャル対応

様々なデバイス・アプリケーションでSNS対応が進む



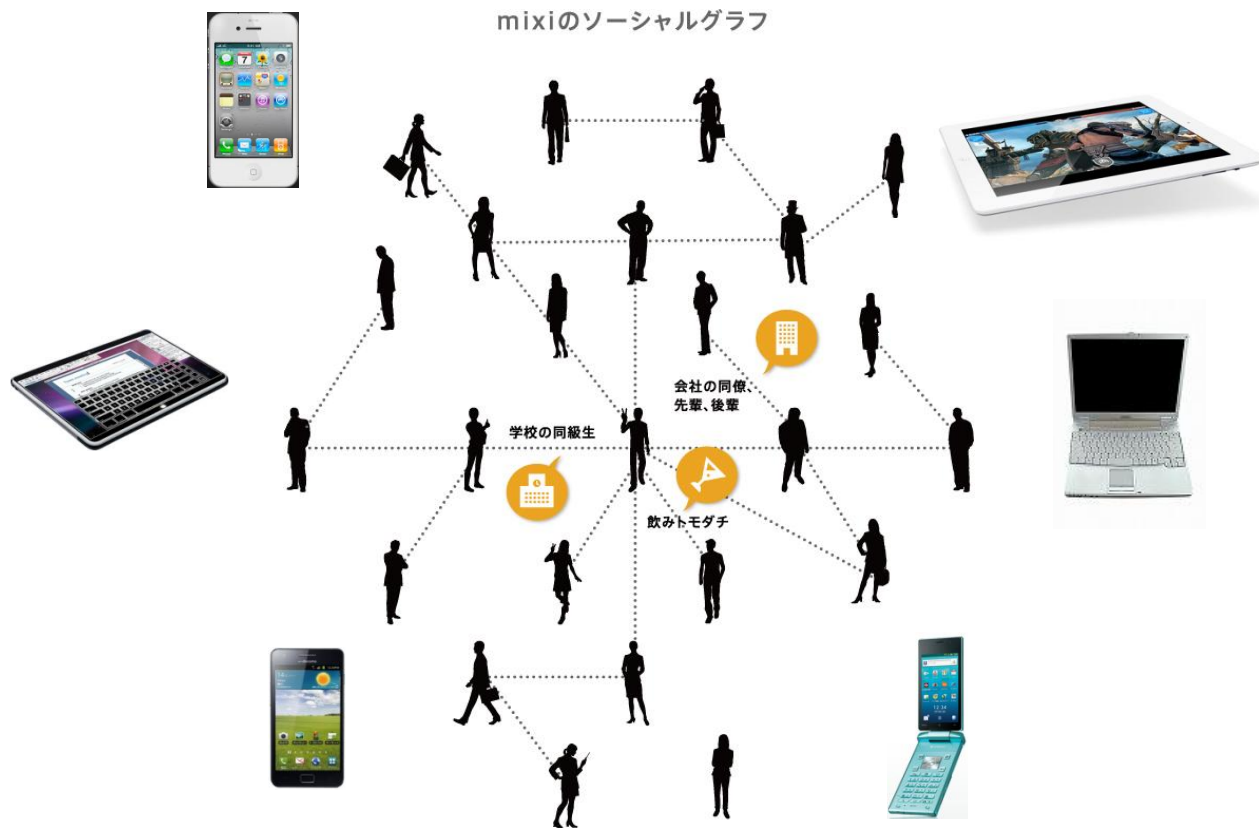


Any Device, Any Networkと ソーシャルネットワーク



デバイスのソーシャル対応の流れ

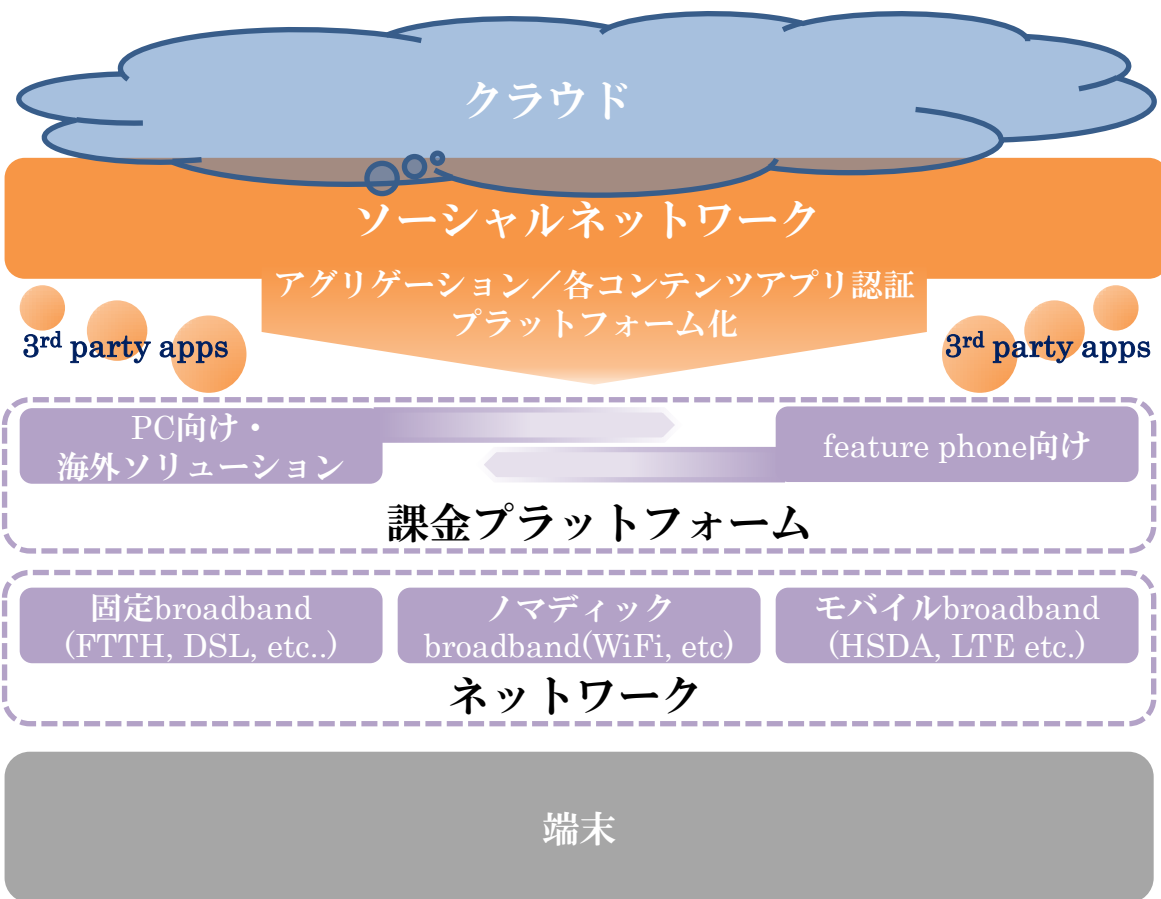
- コミュニケーションの活性化に伴い、多様なデバイスからのアクセスが増加
- ソーシャルネットワークではユビキタス化が進む





networkを超えたplatform拡張

- クラウド化が急速に進む中、認証・課金platformなどネットワークを超えたplatform整備が急務
- 多様な3rd partyを包含するエコシステムが作れない



mixiの持つソーシャルグラフを開放し、3rd party developerと共に良いサービスを創出。認証もサービスに紐づけ、簡便化を促進することで、さらにエコシステムを大きく。

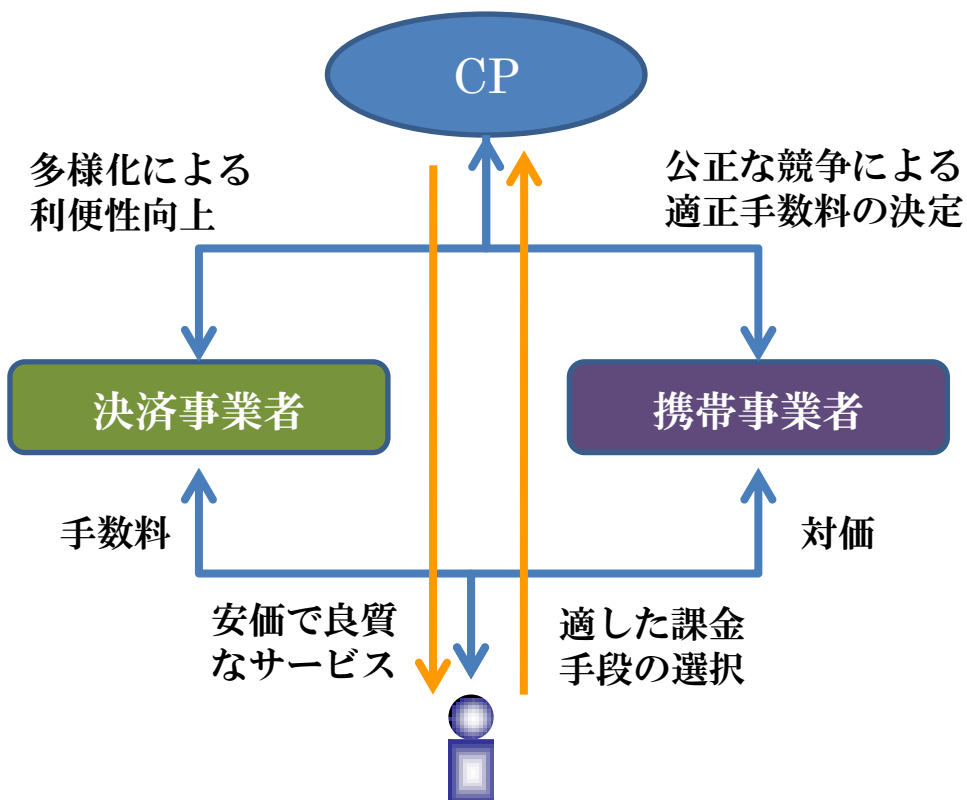
デバイス間連携が難しく、決済料率なども硬直傾向。ユーザーの負担が大きだけでなく、CPも利益率が低くなり、国際的なプレイヤーに対峙できなくなるリスクをはらむ。

様々な端末がネットワークに接続され、ソーシャルネットワークに接続。サービスに対するUI/UXが良ければ、どの端末からのアクセスかは意識せず。

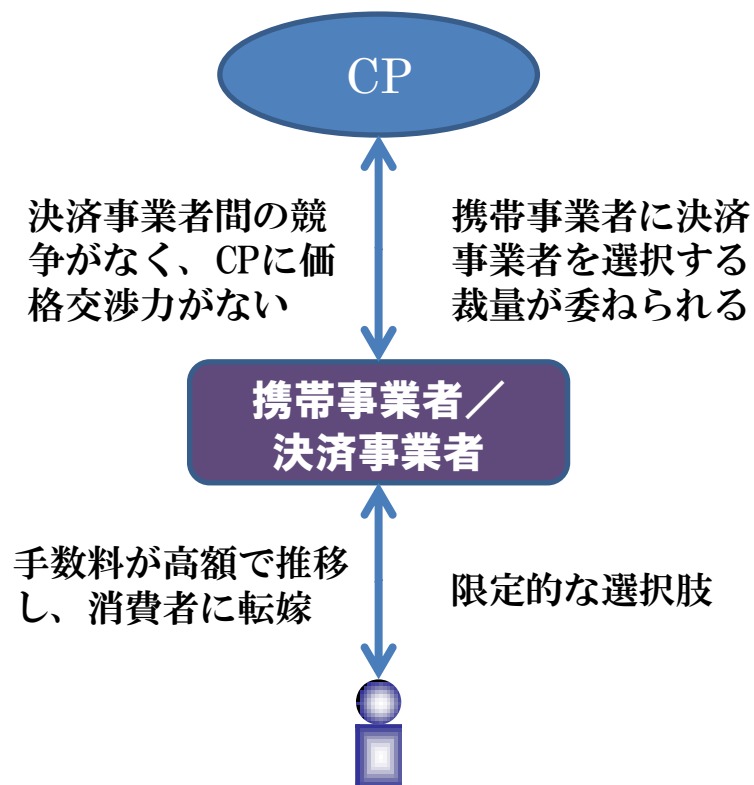


具体的な課題（課金プラットフォーム）

プラットフォーム協議会で示された方針
 決済手段多様化によるユーザー保護、サービス向上、コスト削減 ⇒ より良いエコシステムの創出



現状
 改善は見られるものの一部には
 下図のような状況が残る





グローバルな競争環境にむけて



コミュニケーションツールとしてのmixi

- 日常的に利用するコミュニケーションツールとし、災害時にも安定的に稼働
- 地方自治体の皆様や行政の皆様からの情報発信ツールplatformも整備
- 今後もユーザの皆様心地よいコミュニケーションを

3月11日に発生した東日本大震災におけるmixi利用状況

1対1、1対nのコミュニケーション増加

- 友人ページ：
ログイン時間から安否確認を実施 ⇒ PC：90%増、モバイル：100%増
- mixiボイス：
短いメッセージでの近況共有 ⇒ 約8倍
- 日記：
被災地での情報共有や
被災者と距離の離れた友人との感情共有 ⇒ 約50%増

被災地への義援金協力

- mixiアプリ、ミクコレ：
少額で気軽に参加できる義援金 ⇒ 177万件、2.1億円



グローバルな競争環境

foursquare

Path



twitter



orkut
by Google BETA



LinkedIn



В КОНТАКТЕ

facebook



不適切な規制、非対称規制の撤廃へ

- ソーシャル化が進む昨今、従来の規制(公式サイトにおける外部リンク規制やSNSチェックなど)では実態にそぐわないものが残存
- それら規制は不特定多数とつながるサービスと知人とのコミュニケーションサービスを同一視する誤解から生じた規制であることが多い
- また、上記規制は海外勢には適用外となるケースがあり、規制に対応するために負担増を強いられる国内勢にとって非対称規制となる
- 健全な競争環境を促進し、新たな産業創出のためにはこういった実態にそぐわない規制や非対称規制の撤廃を望む



最後に

- ブロードバンド普及に向けたインフラの整備の議論と共に、上位レイヤーも含めたエコシステムの構築の議論が必須。
- ソーシャル化の潮流は全世界的に拡がりを見せ、競争環境も激化。
- mixiは日本国内で様々なパートナー様とソーシャル化を進めており、新たな上位レイヤーの国産サービスの創出に貢献したい。
- 自社サービスの愚直なブラッシュアップとともに、行政や通信キャリアの皆様の一層の協力体制を構築することで、更に貢献度向上を図る。



参考：創造をもたらすもの

『・・・勝利に向けた一步はイノベーションを促進することだ。我々には次にどういった産業が大きく発展するのか、雇用を創出するのか予測することはできない。30年前、『インターネット』と言われる何かが経済に変革をもたらすなど知る由もなかった。

アメリカが他国に比べ上手くやれていることは、創造・想像力のひらめきである。

我々は道路に車を走らせ、オフィスにコンピュータを導入した国であり、エジソンやライト兄弟の国であり、そしてGoogleやfacebookの国である。

アメリカでは「イノベーション」は生活を変えるものではなく、どのように生活を形作れるかというものである。・・・』

2011年米国『一般教書演説』より抜粋

“The first step in winning the future is encouraging American innovation. None of us can predict with certainty what the next big industry will be, or where the new jobs will come from. Thirty years ago, we couldn't know that something called the Internet would lead to an economic revolution.

What we can do – what America does better than anyone – is spark the creativity and imagination of our people.

We are the nation that put cars in driveways and computers in offices; the nation of Edison and the Wright brothers; of Google and facebook.

In America, innovation doesn't just change our lives. It's how we make a living.”

By President Barak Obama, in the State of Union Address, Jan. 25, 2011

